

水稲病害

1 予報（6月）の内容

病害虫名	発生時期	発生量・感染量	予報の根拠
いもち病 (葉いもち)	—	並 (平年少発生)	(1) 前年の穂いもちの発生は平年並であり、罹病わら・籾殻等の伝染源量も平年並と考えられる。(±) (2) 平年並に箱施用剤が広く使用されている。(±) (3) 6月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予報であり、特に発生を助長する条件ではない。(±)
ばか苗病	—	やや少	(1) 育苗期の調査では、県内広く発生が確認されたが、発生箱率は平年より低かった。(—)

記号の説明 (++)：重要な多発要因、(+)：多発要因、(±)：並発要因、(—)：少発要因、(—)：重要な少発要因

2 防除のポイント

【いもち病】

- (1) 補植用取置苗は、補植作業が終了したら、直ちに処分する。
 - ア 取置苗は遅くとも6月上旬までに土中に埋めるなどして処分する。畦畔に裏返しておくだけでは不十分。
 - イ 処分するときに、いもち病が発病していないか確認する。
 - ウ 発病していた場合は、周囲の本田内でのいもち病発病について観察する。
- (2) 早期発生は大きな被害につながるので圃場をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。
- (3) 葉いもち予防剤を水面施用する場合は、6月20～25日頃実施する。例年早期に発生する地域は、施用時期を1週間程度早める。

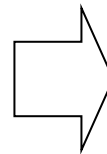
※ 本年の取置苗での発生状況は、6月中旬に発表予定の病害虫防除速報を参照のこと。



取置苗は露がつきやすく
乾きにくいいため、発病しやすい



いもち病の濃密な
伝染源となる



「早期発生」

ずりこみ等致命的な被害につながる

※早期発生とは、取置苗や持ち込み等、特定の伝染源から、早期に始まるいもち病の本田発生。

【ばか苗病】

- (1) 発病株は伝染源になるので、圃場で発生を見つけ次第株ごと抜き取り、焼却または土中に埋めるなどして処理する。
- (2) 稲株が大きくなってからでは抜き取りにくいので、早期発見を心がける。

水稲虫害

1 予報（6月）の内容

病害虫名	発生時期	発生量・感染量	予報の根拠
イネミズゾウムシ	—	並	(1) 5月下旬の巡回調査では、越冬世代成虫の発生圃場率は平年並であった。(±) (2) 前年の発生量は平年並で、越冬量は平年並と考えられる。(±) (3) 平年並に箱施用剤が広く使用されている。(±)
イネドロオイムシ	産卵盛期早	並 (平年少発生)	(1) 5/24現在の有効積算温度で予測された産卵盛期は、県中南部は5月第6半旬、県北部は6月第1半旬である。 (2) 6月の気温は平年並か高い予報。 (3) 前年の発生量は少なく、越冬量は少ないと考えられる。(－) (4) 平年並に箱施用剤が広く使用されている。(±) (5) 6月の気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並の予報であり、被害を助長する条件ではない。(±)

記号の説明 (++)：重要な多発要因、(+)：多発要因、(±)：並発要因、(－)：少発要因、(－-)：重要な少発要因

2 防除のポイント

【イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ】

- 初期害虫を対象とした箱施用剤を使用した圃場では、本田防除は不要である。
- 箱施用剤を使用していない圃場では、畦畔から2mほど入った場所から連続25株調査する。イネミズゾウムシは本田侵入盛期に成虫8頭以上、イネドロオイムシは産卵盛期に卵塊13個以上見られる場合に防除を行う。
- 有効積算温度で予測されたイネミズゾウムシの本田侵入盛期は、県中南部は5月第5半旬、県北部は5月第6半旬ですすでに防除時期となっているので、直ちに調査を行い、上記要防除水準を超えた場合は防除を行う。

【斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ）】

- 県内各地のアカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化盛期の予測日（5月24日現在）は、表1のとおりであり、県中南部ではふ化盛期を迎えている。
- 前年9月中旬（収穫期）の発生圃場率が平年より高かったことから、越冬世代幼虫の発生量は多くなると予想される。
- ふ化盛期の前後5日間に、越冬場所である水田畦畔、牧草地、雑草地、農道等の草刈りを地域一斉に行う（平成19年度試験研究成果参照）。県中南部ではすでにふ化盛期を迎えているので、直ちに草刈りを行う。
- 草刈り後10日間程度は雑草の発生は抑えられるが、その後も、イネ科植物（イタリアンライグラス、スズメノカタビラ等）を出穂させないように管理する。

表1 アカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化盛期（今後の気温が平年並に推移した場合の予測）

年次	一関	江刺	北上	大船渡	盛岡	二戸	軽米	宮古	松尾	遠野	湯田	久慈
令和4年	5/20	5/20	5/21	5/25	5/22	5/26	5/26	5/26	5/28	6/3	6/9	6/4
平年	5/25	5/25	5/26	5/30	5/29	6/3	6/3	6/4	6/2	6/5	6/11	6/8
(参考) 令和3年	5/25	5/25	5/28	5/27	6/1	6/5	6/4	6/3	6/6	6/6	6/11	6/5

※5月23日までは各地点におけるアメダス日平均気温実況値、以降は日平均気温平年値（10年平均）を用いて算出。

3 防除上の留意事項

- イネドロオイムシについては、カーバメート系殺虫剤の効果が劣るところでは他系統の薬剤を選択する。